

(2) 平成30年度の運営・取組状況について

1. 入浴者数の状況

① 年間入浴者数70,000人を目標として、各月の目標入浴者数を定め（平成28年度の月毎の入浴者の変動数を基準とした補正係数による）、月ごとに達成状況を管理しました。

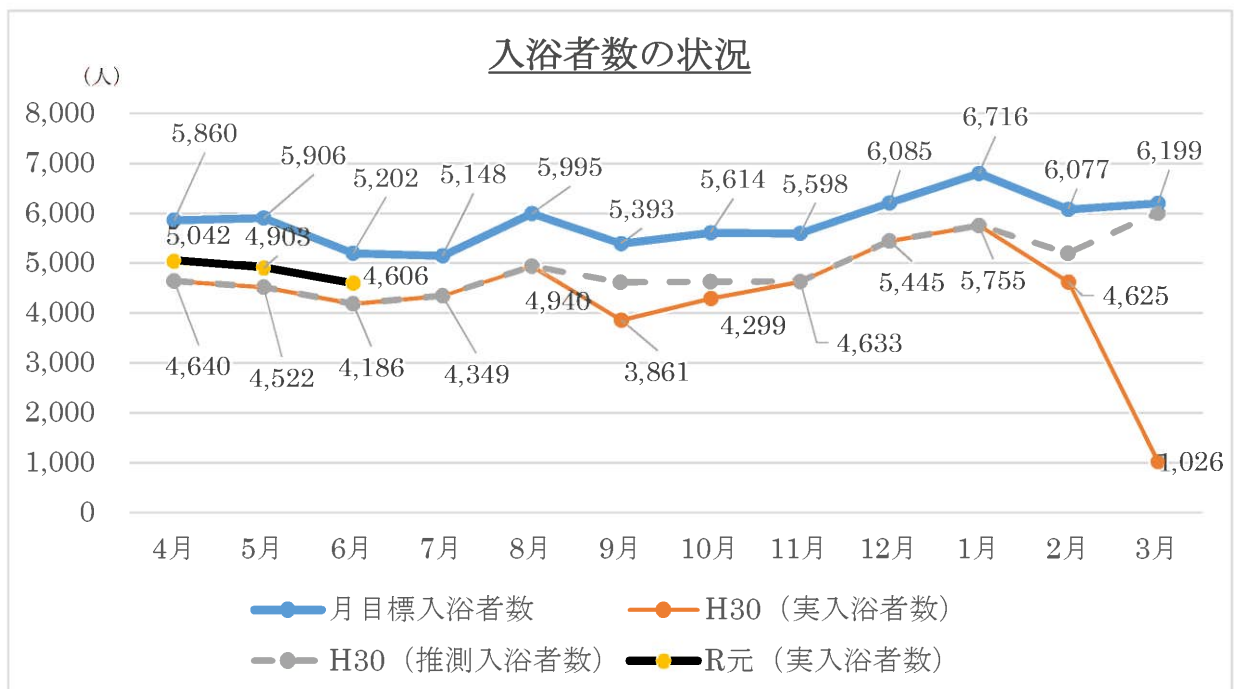
② 4月から5月までの入浴者数は、いずれの月も達成率は70%台となりました。6月以降は80%台と増加傾向にあり、これは3月以降に配布した割引券や、各事業の取組効果が出始めた結果だと考えています。

9月下旬から10月上旬にかけて、浴室の天井の一部に落下の危険性が見つかり、修繕工事（市施工）のため、6日間（休館日含まず）休止したことから、利用者が減少しました。

その後、11月以降は80%台で推移し、12月には90%近くまで増加しました。

2月下旬から3月下旬にかけて源泉施設の移設工事に伴い、26日間（休館日含まず）の休止となり、再び利用者が減少しました。

年間入浴者数は、目標の70,000人に対し52,281人（74.7%）となりましたが、工事に伴う休止がなかったと仮定すれば、入浴者数は58,922人（9月～10月で約982人。2月～3月で約5,659人）で達成率は84.2%と推測されます。



2. 収支の状況

- ① 収入については、指定管理料に加え、入浴休止に伴う市からの補償金（2,007千円）、入浴料及びその他の内の土産物販売利益（1,568千円）等により、収入額46,853千円となりました。
- ② 支出については、下記の内容により削減ができ、支出額が48,183千円となりました。
- ・人件費で、職員のシフト調整やアルバイトのスポット勤務による配置により、全体で▲2,642千円の削減
 - ・事業費では、浴室内のカラン（蛇口）の節水（定量を出す設定）で約▲500千円を削減できたが、塩素等の消耗品費の増加により、全体で▲364千円の削減
 - ・事務費では、軽微な修繕箇所を担当職員で対応したこと、また、シフト調整によりシルバー人材センター委託料（受付や清掃）が▲1,458千円削減できたことにより、他費用で増額があったものの全体で▲605千円の削減

平成30年度は、1,330千円の赤字となりました。

（収入）

（単位：千円）

項目	決算額	予算額
指定管理料	17,707	15,700
入浴料	23,485	33,425
その他	5,661	2,669
計	46,853	51,794

※ その他は、土産物販売利益、多目的ホール使用料、テナント使用料、自動販売機基本設置料等

（支出）

項目	決算額	予算額
人件費	19,827	22,469
事業費	16,520	16,884
事務費	11,836	12,441
計	48,183	51,794

収支差額	▲1,330	0
------	--------	---